

浜岡原子力発電所5号機 タービン主油タンクレベルの低下について

平成 20 年 2 月 4 日

発生号機	5号機(定格熱出力一定運転中) :改良型沸騰水型、定格電気出力126.7万キロワット
発生年月日	平成20年2月4日
発生時の状況	午前6時18分に、タービンや発電機の軸受けに供給する潤滑油を貯蔵するタンク(主油タンク)の油面低下を示す警報が点灯しました。 関連する機器の確認を行ったところ、タービン機器冷却水系(※1)タンクの水位が上昇していることを確認しました。 このことから、午前11時13分に油をタービン機器冷却水との熱交換により冷却していた油冷却器(B)を停止・隔離し、待機中の油冷却器(A)へ切り替えを実施したところ、主油タンクの油面低下およびタービン機器冷却水系タンクの水位上昇が止まりました。
原因	圧力の違いにより、油冷却器(B)内部で、油がタービン機器冷却水系へ流れ込んだものと推定しています。 本事象によるプラント運転への影響はありませんが、今後、関連する機器の監視を行います。
放射能の影響	本事象による外部への放射能の影響はありませんでした。
お知らせ基準	運転情報 「表2-20 その他の事象であって、公表が望ましいと判断したもの。」に該当します。

※1 タービン機器冷却水系は、タービン系の機器(ポンプ、モータ、熱交換器等)に冷却水を供給する設備です。

以上

タービン潤滑油系統概略図

